

# 共に学び、共に創る地域の学校「瀬谷さくら小学校」

神奈川県横浜市

活動名

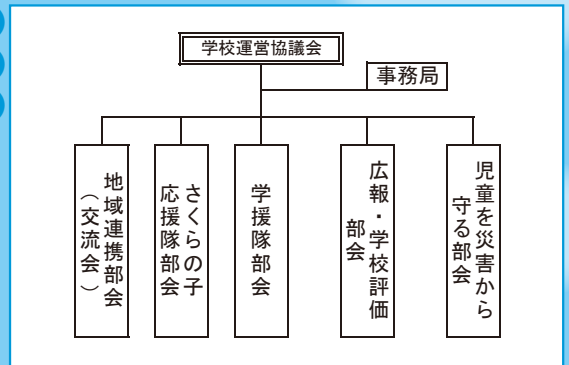
さくらの子応援隊

関係する学校名

瀬谷さくら小学校

基本データ	学校支援活動	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		0人	5人	201人	有	24年度	有	無	無
	地域未来塾	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所		学習支援	放課後児童クラブとの連携				
	土曜日の教育活動	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	コミュニティ・スクール	指定日				委員数	児童生徒数	学級数	
		平成 22 年 4 月 1 日				12人	441人	17学級	

体制図



**活動の概要・経緯**  
 活動拠点である瀬谷さくら小学校は、平成 22 年 4 月に下瀬谷、日向山の両小学校が再編統合し開校。以降、学校運営協議会を中心に、地域共同参画型の学校づくりを推進している。地域の高齢化が進む中でも、学区内の全ての地域からボランティアが登下校の見守り、学習支援（算数サポート、算数補充授業）等の地域学校協働活動に参加し、学校職員とともに子供たちの成長に寄与している。子供たちの地域への関わりにおいては、児童会代表が、地域懇談会で学校の取組を伝えるとともに、魅力あるまちづくりについて大人たちと意見交換を行っているほか、地域行事では子供たちが盆踊りやソーラン節を披露し、まつりが活気づいている。また、学校職員も地域行事の企画・運営に携わるなど、地域と学校が連携・協働し、よりよいまちづくりに取り組んでいる。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【特徴的な活動内容】

学校・地域コーディネーターを中心とした、学習支援方法の研修等の実施により、ボランティア人材を育成し、活動の拡充と継続に取り組んでいる。

<地域による教育支援>

- 算数学習サポート（授業時間に週 1 ないし 2 回実施、児童 2 人に対しボランティア 1 人程度）
- 算数補充学習（4～6年生を対象として、放課後に年 10 回程度実施）（2年生を対象として、毎週火曜日朝の 15 分間を利用し、かけ算や九九の学習を支援）
- 図書ボランティア（隔週の中休みに実施）
- クラブ活動支援（手芸、陸上、ボール、サイエンスクラブ等への支援）
- 授業への参加（全クラスを対象にボランティアが支援）
- 行事への参加（ズーラシアマラソン等）
- 1年生との交流会（昔遊び年 3 回）
- <子供たちの地域活動への参加>
- 夏祭りへの児童の参加（1年生：浴衣姿でやぐらの上で盆踊りに参加、5、6年生：オープニングセレモニーでのソーラン節披露及び地区ごとの屋台の売り子や宣伝のお手伝い）
- 下瀬谷鍋を食べよう会への参加（地場産の野菜でけんちん汁を作り、みんなでいただく。材料を切るところから児童も参加する。家庭科室等を地域に開放して実施）
- 特別合唱クラブによる地域の敬老会での合唱披露

<学習発表会>

地域住民を招き、総合的な学習の時間、生活科及び社会科等で、1年間を通じて学んだことを子供たちが発表。合唱、楽器の演奏などのプログラムによる児童音楽会（ミュージック広場）を年 3 回実施。地域に対して、子供たちの成長の様子を伝え、日頃の学校支援への感謝を伝えている。

<その他>

- 陸上クラブのちびっこ駅伝大会、瀬谷マラソン出場時の、地域による応援団の結成。
- 地域からの提案による学区周辺をマラソンコースとした、「さくらマラソン」の実施。（初年度：26年度、警察署から道路通行許可書の発行を受けて実施。）

### 【実施に当たっての工夫】

- 土曜参観等の機会に、活動の様子などをパネルにして掲示し、ボランティアを増やす努力をしている。
- 児童が参加する地域の行事に、学校教職員も参加し、子供たちの地域での活動の様子や大人たちとの関わりについて把握している。

## ● 事業を実施しての効果・成果

- 算数学習サポートでは、マンツーマン指導により、子供たちの基礎学力の習得において効果をあげている。
- 算数補充学習では、苦手意識を持つ児童も、自分に合ったペースで学習ができ、効果をあげている。
- 支援活動に関わる方々と交流する中で、子供たちが自然に挨拶をしたり、感謝の思いを伝えるようになった。
- 休日や地域の活動においても、子供たちが支援活動に関わる方々と、名前で呼び掛けあうようになり、親しさが増した。
- 放課後や休日に児童同士で地域の福祉施設などに出かけ、地域の方々と交流が進んだことにより、地域の方から喜びの声が、学校にも伝えられている。

## ● その他

その他の地域による取組：昔遊びによる交流（生活科）、野菜作りなど農業体験支援、音楽鑑賞（箏の演奏）や演奏指導（ウクレレ）、合唱指導（カナリヤ会）などの体験活動への支援



算数サポート



ウクレレの体験